



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 米国議会審議（議会証言、議事録）（44・6・3下院才出委国際活動小委（ロジャース国務長官等証言）記録 外務省外交史料館レファレンス番号：H222965）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.4 公開日：平成23年2月18日 外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(257) CD・DVD番号：H22-017
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43842
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

44.6.3 下院才出委國際活動小委(口以久國務長官等)記言
記錄

漢

外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 平	符号表示 暗 略 平	※ 総第 49564 号
	※ 第 2027 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 秒 44.10.9 21.31
	大至急・至急 普通 LTF	※ 発電係

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米第一課長	主管局部課(室)名 米北一 起案 昭和44年10月9日 起案者 石野 電話番号 496
--	-------------------------------	--

協議先

在 米下田 大使 臨時代理大使
総領事 代理 えて 愛知 大臣 発

電 在 大使 臨時代理大使
報 在 総領事 代理 えて

件名 米下院聴聞会証言記録(沖繩問題)

当地報道に「LMI」6月3日 米下院支出
委員会對外援助分科委員会の秘密聴
聞会における「ロッキード」関係長官、
レポート「国防長官」及び「3-11」高層幹部官
等の証言記録を10月7日公表した

済

9 202 79

(※印内は電信課記入)

(昭和四二・七一改正)

GB-1

再読可右記録

報じているところ、右事実要旨を回電
ありたく、同テキスト入手の上空送あり
たし。

(7)

GB-3

外務省

ソカヒ 万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

447

電信写

大政事外外務官
 事務 典房
 次官 審審長長
 儀文会普給
 参入電厚計
 参閣折企
 参領旅移
 参地中東
 参北北保
 参一
 参西東洋
 参西
 参書近ア
 次総経国万
 参質統
 参政技二
 参一運
 参条協
 参政経科
 参社専
 参道内外
 一二

総番号(TA) 45557
 69年10月9日20時00分 米 国 発着 米北1
 69年10月10日10時05分 本 省 着

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題(米下院ちよう問会記録)

第3216号 平 至急

貴電米北/第2027号に関し

8日公表された米下院歳出委員会国際活動小委員会の1970年度対外援助予算に関するちよう問会記録中ロジャース國務長官及びレアード国防長官の証言記録の要旨次の通り。なおランパート高等弁務官の証言は往電第3170号の通り。また同記録はつすいは往信政第8199号、同テキストは往信政第8328号(9日パウチ)にて送付した。

1. レアード国防長官の証言(6月3日)
 (1) (コンテ議員のオキナワの基地は米国の安全保障にどれほど重要かとの質問に対し)米国の国防戦略の一つの原則は紛争や危険をできるだけ米国沿がんからとおいところて抑止またはふうじ込めるために前線に軍事力を配置することにあり、オキナワはその意味での日本から韓国、中華民国、比国を経てタイに至る前線の要である。オキナワ

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

の米軍基地はこれら地域への(イ)作線基地、(ロ)補給基地、(ハ)通信基地の役割を果している。このようなオキナワの戦略的重要性は米国大統領によつて度々強調されており、1967年11月の訪米に際してサトウ総理もその重要性を認めている。

(2) (リードふ人議員の日本は軍事援助をしているかとの質問に対し)日本は軍事援助は自分の知る限りしておらず、日本の国防費はGNPの約2%という少額である。

2. 同日のウオレン空軍中将(軍事援助担当国防次官補代理)の証言
 (米軍基地を日本、オキナワからミクロネシアに後退させるといふおく測が流れているが、この計画はどうなっているかとの質問に対し)日米間には安保条約があり、日米いずれもこれを破棄しようとは考えておらず、またオキナワ返かん後においても日本側は在リュウ米軍基地の重要性を認めるべく、将来の在リュウ米軍基地の使用を含んだ相互安全保障上の必要性が考慮に入れられることになる。

3. ロジャース國務長官の証言(7月10日)
 (パスマン議員の日本の国防支出に関する質問に対し)米国は日本の対外経済援助増額を強調するつもりである。防衛面では日本はオキナワ防衛につきより大きなこうけんを

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

しよと望んでいる。米国はオキナワ返かん後も引続きオキナワにとどまる方針であるが、日本はオキナワ返かん後オキナワ防衛のためより多くの負担を払う用意があるように見受けられる。

(7)

-3-

外務省

至急

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

秘

政第 8199 号

昭和 44 年 10 月 4 日

外務大臣殿

在 米 下 田 大 使

沖縄問題(米国議会聴聞会
議事録送付)

去る 4 月 29 日 下院才出委員会国際活動小委員会において開かれた沖縄問題に関する議事録(証言者レポート中蔣、江上陸軍次官補代理等)を、3 日入平法のご別添送付申出する。

なお、本件議事録は、10 月 8 日公表される。



GA-4

付属空便(行)

当地時間

外務省

要項
首席事務官
南方
渉外調査
漁業
航空
科学協力
連絡調整
調査
力十分
局庶務

北東アジア課長

アメリカ局長

送付公信

参事官
北米課長

政 第 8328 号

昭和44年10月9日

外務大臣殿

在米下田大使

引用公信・電信番号

往電才3170号及び往信政才8199号

送付資料

沖繩問題(未下院才出委国際活動小委議事録)

ズレし
付
不
係
等

添付なし

- 要処理
- 官署事務官
- 渉外調査
- 航空
- 科学協力
- 経済調査
- 力十夕
- 局庶務



付属添付

付属空便(行)

付属空便(D.P.)

本信写送付先:

(別添省略)